



タウンミーティングを開催しました！

全6地区のコミュニティセンターにて、
策定中の第6次総合計画のご紹介や東浦町の現況についてご説明致しました！

～開催の様子～

タウンミーティングにも女性の参加を促す工夫をしたほうがいいのでは？



7/21(土) 緒川地区

人口減少・高齢化で東浦はどうなるのかデータをしっかり分析してほしい！



7/21(土) 緒川新田地区

自分事としてのまちづくりのやり方が分からない住民にきっかけほしい！



7/22(日) 生路地区



7/22(日) 石浜地区

グローバル社会に対応できる特性を活かした取組が必要では！



7/29(日) 藤江地区

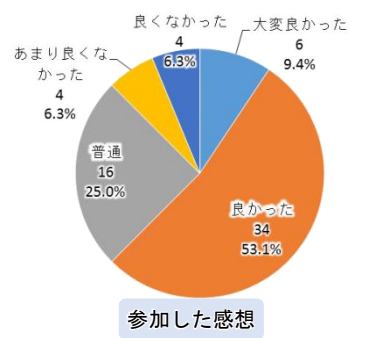
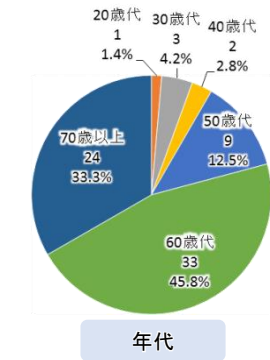
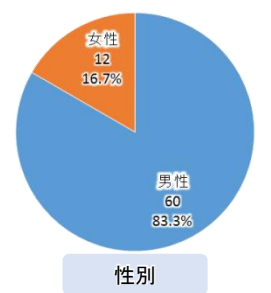
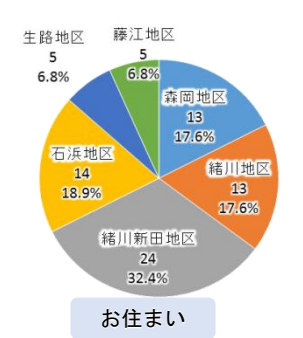
地域の活動に参加しやすくなるような仕組みづくりを町に支援してほしい！



7/29(日) 森岡地区

地域の一部の人への負担ではなく住民全員が協力できるようになるといい！

～参加者アンケートより～



問合せ：東浦町企画政策課 0562-83-3111 内線 290
kikaku@town.aichi-higashiura.lg.jp



～ 森岡地区 ～



【開催概要】日時：7月29日(日) 13:30～15:00 場所：森岡コミュニティセンター 参加者数：20名

	意見等の概要	回答
基本構想について	少子高齢化のことが一番頭に残った。AIの時代、高齢者でも仕事ができる時代、外国人の増加など、社会の変化をどのように捉えて計画づくりをしているか。	総合計画審議会でも技術革新を取り込むべきという意見をいただいている。基本構想は長期の方向性を示すものとなるが、基本計画、実施計画では時代の変化に応じて現状にあった計画としたい。
	第5次総合計画と第6次総合計画で、どう変えたか。	第6次総合計画では、住民・事業者・行政が主体となって取組が進められるよう、それぞれの役割を明確にしている。
基本計画について	地域を担う人材の不足が深刻になっている。地域の一部の人に負担がかかるのではなく、住民全員が協力できるようにするにはどうすればよいかを考えていきたい。「楽しい」「やってよかった」と思えるようにしたい。	全地区で共通の課題になっている。行政も一緒になって考えていきたい。
	人口減により税収は減る。高齢化や施設の老朽化により支出は増える。収支バランスがどのように変わるかなど、具体的な提示があると検討しやすい。大きなビジョンがあり、目標があり、どこを重点にするのか、PDC A、指標など具体的なものがないと意見を出しにくい。現計画の満足度の達成度はどうなっているのか。	第6次総合計画では、指標を設けて、進捗状況を管理していく。第5次総合計画では、満足度の指標もあったが、満足度調査で、施策に該当しない人の回答として「どちらでもない」が増えているため、第6次総合計画では、満足度は指標にしない方向で考えている。
	第5次総合計画の反省はしているのか。課題の分析が必要である。	第5次総合計画の各施策に対する評価は行っており、審議会資料としては提示している。
	人口動態(人口減)は30年前から分かっていたこと。第5次総合計画では、人口微増という長期的な視点の見込みが外れた。短い期間でできることを考えた方がいいのではないかと。	第6次総合計画では、基本計画を10年間ではなく、5年間とし、社会環境の変化に対応できるようにしたいと考えている。
	東浦町周辺の市町は、全国でも財政の健全度ランキングの高い市町が多い。東浦町だけで全て解決しようとするのではなく、広域で取り組むことも考えるとよい。	衣浦定住自立圏(刈谷市・知立市・高浜市・東浦町)として協定を結び、取組を進めている。知多の5市5町での連携も進めている。
	外国人の労働力も考えたい。介護士、保育士、看護師を研修生として呼び込む。若い人が増えると活気が出てくる。	県営住宅があることもあり、外国人が増えたが、労働力としての外国人の受け入れも検討していく。
	第6次総合計画では、何に最も力を入れるのか。	総合計画は、一部の分野に偏ることのない総合的な計画になるが、施策の内容によって力の入れ方が異なる。早期に着手するもの、長期的に取り組むことのメリハリをつけていきたい。
	計画をつくるにあたって、住民が元気になる「よし、やろう」と思える計画にして欲しい。東浦町には健康の森がある、健康体操、健診なども進んでいる。「健康年齢日本一」を打ち出してはどうか。プラス発想で考えたい。	東浦町70周年を記念して健康体操をつくった。保育園児が健康体操の披露をしたが、お年寄り等が座ってできる健康体操もつくった。ラジオ体操をしているクラブもたくさんある。100歳体操の取組もある。
野沢温泉では、空き地でラジオ体操をしていた。一緒にやりましょうと誘われた。このようなことが普通にできる地域はすごいと思う。地域皆で体操して元気になるのとよい。コミュニティの祭りで健康体操を披露して、地域に広めてはどうか。具体的に何をしていくのかが分かりにくい。	健康寿命を延ばす取組により、地域に元気なお年寄りを増やすことを総合計画にも位置づけている。	
主婦が、防災や避難に関する講習を受けられる機会はあるのか。災害時、地域の役員に女性がおらず、相談しにくいと聞いたことがある。防災に関して女性も中に入れて進めないといいという時に助けられない。	それぞれの方向性に基づく分野ごとの取組は、基本計画、実施計画に具体的に位置づけていく。	
「徒歩で生活できるまちの実現」をぜひ進めて欲しい。具体的な取組はあるか。	大規模災害になると役場の力だけでは対応できないことが多い。避難所の運営等、自主防災会の協力が必要となる。自主防災会に女性が参画し、女性の意見を取り入れることも大切である。町としても会長さんと相談していきたい。必要な講習があれば、町も支援する。	
小中学校の熱中症対策は、計画に取り入れられているのか。各学校にエアコンを取付けるなどの案はあるのか。体力の無い小学1年生の教室だけでもエアコンが取付けられるように検討して欲しい。	平成27年度にコンパクトなまちづくり計画をつくった。各駅を拠点にしたまちづくりを進めたい。	
昨年度、会議やWSに参加したが、ざっくばらんな会議で楽しかった。子育て世代が町に意見を言える場が少ないので、そのような場をつくってほしい。	現段階では、特別教室から順番にエアコンの取付けを進めている。総合計画に具体的な位置づけはしていないが、何らかの対策が必要だと考えている。	
それぞれが主体的に動くためには、町と地区とのやりとりの場がもう少しあるとよいと思う。	今年度は、中学生から29歳までを対象とした「若者会議」を開催している。今後、世代別のWSなども考えていきたい。	
パブリックコメントでは、もう少し計画の詳細を知ることができるのか。具体的な部分が見えると意見が出やすいと思う。	町としても考えていきたい。	
	これまでの総合計画審議会の内容等についてもホームページに掲載している。	